

馬鈴薯の軟腐病耐病性の品種間差違について
第1報 接種試験について

小原 昶*・橋口満男*・三善重信*

OHARA, T., HASHIGUTI, M., & MIYOSHI, S., A Study on the
Soft Rot Resistance of Potato Varieties
1 About Inoculation Test

本研究は昭和30年度国庫補助による馬鈴薯の特性
検定試の中、特に指示を得て馬鈴薯軟腐病の抵抗性の
品種間差違について行つたものであり、本試験の遂行
に御指導をいただいた、当県環境部長深野技師並びに

病理研究室の横山技師に深謝の意を表する。

試験方法 供試品種、男爵外、20品種系統。耕種既
要、当場規準による。

接種の方法及び結果 6月15日掘取後、各品種共20

第1表 接種試験の罹病度

品名種	強				稍強				稍弱				弱									
	北海一〇号	長系一号	ホイライ	西海四号	島系二七号	男爵	神谷薯	タチバナ	農林二号	西海三号	ウンゼン	農林一号	(長)農林一号	ケネベック	長系二四号	北海一三号	エリステイグ	島系二六号	オ、ジロ	ア、リ	島系二九号	
罹病度	+	22	10	10	5	18	10	2	0	1	2	3	3	0	2	0	0	0	5	0	0	
	+	23	39	35	40	15	24	31	37	29	26	19	15	18	14	8	10	16	11	10	4	
	+	5	1	5	5	12	11	12	10	18	18	15	20	29	26	19	32	29	20	15	18	15
	+	0	0	0	0	5	5	5	3	2	4	6	7	6	6	15	10	14	21	22	31	
計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	

第2表 接種，圃場，貯蔵試験の罹病度比較

品名種	+		+ <th colspan="2">+ <th colspan="2">+ </th></th>		+ <th colspan="2">+ </th>		+	
	接	貯	接	貯	接	貯	接	貯
北海系	●	○	×	○	○	○	○	○
長系	●	○	×	○	○	○	○	○
西海	●	○	×	○	○	○	○	○
ホイライ	●	○	×	○	○	○	○	○
神谷薯	●	○	×	○	○	○	○	○
島系271号	●	○	×	○	○	○	○	○
タチバナ	●	○	×	○	○	○	○	○
農林2号	●	○	×	○	○	○	○	○
西海3号	●	○	×	○	○	○	○	○
男爵	●	○	×	○	○	○	○	○
ケネベック	●	○	×	○	○	○	○	○
農林1号	●	○	×	○	○	○	○	○
同系	●	○	×	○	○	○	○	○
島系267号	●	○	×	○	○	○	○	○
長系24号	●	○	×	○	○	○	○	○
北海13号	●	○	×	○	○	○	○	○
オア系	●	○	×	○	○	○	○	○
島系269号	●	○	×	○	○	○	○	○

~30匁のものを選定し1週間毎に10~20個宛切断し
5回反覆処理を行つた。菌は純粋培養の *B. arafidea*
菌を用い、直径3mmのパンチで切り抜いた漏紙片に
濃厚菌液を1定量含ませ、これを針にて薯の断面に
添附し、室内に設けたビニール張りの框内に収め、室
温25度C、湿度90%を持續して、24時間毎に4回病
斑の進行程度を測定した。その結果は第1表の如くで
常に高い抵抗性を示したものは、北海10号外3品種、
常に抵抗性の弱かつたものは、島原267号外2品種で
他の品種は、個体間の差が強く現われ一定した結果は
得られなかつたが、総括的には、稍強いものとして男
爵外5品種、稍弱いものとして、ケネベック外7品種
に分ける事が出来た。

この成績を、掘取時の腐敗率及び、貯蔵中の腐敗率
と比較して見ると第2表の如くで、はつきりした相関
は認められないが、ある程度の傾向を認める事が出来
る。この点については、薯の発育程度と薯の糖含量と
の關係が関与している様に思われ、栽培的には早生品
種が弱く、晩生品種が強い傾向にある点と併せ考え、
将来さらに研究を進めるべき点であると思う。

* 福岡農業試験場